

## 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進をめざして

校 長 曾川孝規

いわき支援学校くぼた校は、いわき市南部にある知的障がいを中心とする高等部の分校で、現在26名(1年8名、2年11名、3年7名)在籍しています。

「市の南部に特別支援学校を作ってほしい」という地域の願いにより、平成27年4月に県内で初めて高等学校(勿来高等学校)内に設置され、6年目を迎えます。市の北部にあるいわき支援学校とは、約30km程離れています。

「自ら考え学ぶ人」「心ゆたかな人」「じょうぶな人」の3つの教育目標を掲げ、知徳体バランスの取れた児童生徒の育成をめざしています。

くぼた校は、高等学校内にあるという特徴を生かし、対面式や避難訓練、運動会といった共同による行事の実施や生徒会による挨拶運動や地域ボランティア活動にも高校生の力を借りて積極的に参加し、その中で互いの理解を深めながら活動に取り組んでいます。また、地域の企業や商店の理解を得ながら日常的に現場で働く力を学ぶ産業現場作業学習にも挑戦しながら、進路に向けた実践的な学習も進めています。

現在、新型コロナウイルス感染症への対応のため、例年通りのスタートは切れていませんが、今後とも、たくさんの地域の方々の理解と支援を得ながら、県が掲げる「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を図り、生徒一人一人の自立と社会参加に向け、努力してまいりますので、御理解と御協力をお願いします。